

ライフステージにあった マップづくり部会活動報告

平成22年11月
せたがや福祉100人委員会

1年目の検討と提言

- 1 マップづくりの目的と視点を明らかにした
 - 2 マップのひな形をつくり区の施策として提言
- マップをつくる目的は・・・

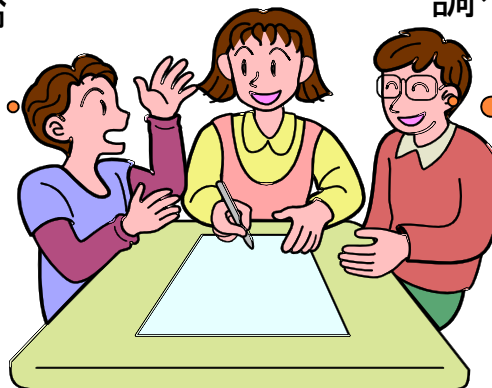
- 地域の資源をマップにして共有
- 地元意識、福祉的視点の育成
- 調査者、対象者の交流
- 身近なことから「わが町」の評価

子ども(子育て)、青少年、壮年、高齢

調べやすい、差し替えやすい



転入、結婚、就職



2年目の検討と提言

- 1 調査手法、システムの作成
- 2 マップづくりの実践を通じた検証

- 住民活動と連携した調査の実践
- 学習会、シンポジウムの実施
- マップ情報の収集ツールの作成
- ホームページでの情報提供



そして3年目今年の活動は・・・

- 1 活動を広めていくための方策
 - ◆ 活動を始めてもらうための小冊子作成
 - ◆ だれもがマップづくりに参加できるようにソフトの改良
 - ◆ マップ作成地域の拡大と掲載数の増加

- 2 活動を続けていくための方策
 - ◆ 継続的な活動のための資金確保の手段を検討
 - ◆ 他の地域の取り組みを調査

活動を広めていくための方策

◆活動を始めてもらうための小冊子作成

仲間作りから、場所の確保、調査の方法、発表まで、私たちの3年間の活動のノウハウをまとめてアピールできる小冊子を作成

→今後、地域のNPOなどに配布予定

お手元の資料をご覧ください

活動を広めていくための方策

◆だれもがマップづくりに参加できるソフト

このサイトにアクセスして、誰もが地図作りに参加できます。

→みなさんも是非ためしてみてください。

小冊子の資料編（P18～）をご覧ください

活動を広めていくための方策

- ◆ マップの種類、数の増加と地域の拡大
これまでの北沢に加えて赤堤、上北沢、練習用の
個マップ作成用ページを追加。



ライフマップづくり部会
／ 地域福祉マップ作成による地域ネットワークと地域拠点作り

ライフ/地域福祉マップ作成(進行地域)	
赤堤	
上北沢	
北沢	練習用

→最終的には区内28地域を目指す。

活動を続けていくための方策

- ◆ 継続的な活動のための資金確保手段検討
あらたな資金獲得のためにアフィリエイト
（広告）を掲載し、クリック、購入による収入
を運営の一部に回す仕組みを実験中



活動を続けていくための方策

◆他の地域の取り組みを調査

- 川崎市宮前区、新宿区、狭山市などのように、ノウハウをもった民間に行政が情報を提供して、市民の情報活用や交流を促している例もあります。



みなさんも是非ご参加ください